



進路活動を始めよう

2年生の皆さんは、進学したい大学や専門学校、就職したい企業についてどのくらい情報収集をしているでしょうか？また、進学を考えている人は、どのような受験方法があり、自分はどの方法で受験しようか考えていますか？

大学入試に関しては、AO入試、推薦入試、一般入試という名前が変更になるだけでなく、選抜方法も変わります。センター試験から大学入学共通テストになり、2月8日の共通テスト早期模試をと通して、問題の問われ方がセンター試験と異なることを実感したのではないのでしょうか。新入試制度元年ということで、各大学の選抜方法についての情報収集やこれから実施される模擬試験などから受験に向けた対策をしていかなければなりません。大学進学希望者は、大学のホームページやオープンキャンパスなどでこまめに情報を収集し、どの選抜方法で受験するか考えていきましょう。

受験形態についてですが、高校3年間の活動実績や大学・短大、専門学校で学ぶ意欲をアピールしたい人や、推薦、一般に加えて受験のチャンスを増やしたい人は、AO入試（総合型選抜）について考えてみましょう。学校の評定平均値に自信がある人は、指定校推薦や公募推薦（学校推薦型選抜）を考えてみましょう。大学・短大、専門学校によって条件は異なります。出席日数が推薦の条件になる場合があります。また、総合型選抜（旧AO入試）においても、大学入学共通テストの得点を合否判定に用いる大学があり、「学力」が問われるようになっていきます。角田高校に来ている指定校推薦の評定平均値等の条件については、進路室で知ることができます。進路職員室の先生に相談してください。また、進路職員室のとなりの進路相談室には、受験報告書や模試の過去問、求人票、受験に関する書籍などが置いてあります。持ち出し禁止ですが、進路資料室で閲覧、コピーすることができます。2年生の皆さんもそろそろ進路に向けて行動していきましょう。

☆進路行事のお知らせ

『3月3日(火) 大学・専門学校進路説明会』

3月3日は、高校入試前日のため、皆さんは14時10分完全下校の日です。先日、クラスで案内があったと思いますが、この日に大学・専門学校の進路説明会が角田駅前のオークプラザで行われます。宮城県内の大学、専門学校が複数参加し、1度に多くの情報を得ることができます。事前に参加希望の調査をしましたが、希望していなかった人でも当日の参加は可能です。進路についてまだ何も考えていなくても気軽に参加して話を聞いてみましょう。今後の進路選択のきっかけになるかもしれません。

『3月17日(火)「先輩の進路決定に学ぶ」(合格体験談を聴く)』

本校で毎年行っている行事で、卒業したばかりの先輩の進路選択、希望先決定、合格についての成功談・失敗談を聴く行事です。毎年、この体験談を聴いて、進路希望達成への意欲が高まったという先輩もたくさんいます。1年生は全員大学進学コースで話を聴きます。2年生については、下記のコースより選択になります。講師・進路決定先等は、今後掲示したいと思います。

- A. 大学進学決定者
- B. 専門学校・短大進学決定者
- C. 民間就職・公務員決定者
- D. 看護系進学決定者

『3月26日(木) 春期進学講習会(2年生対象)』

春休みに大学進学希望者を対象とした講習会を実施します。会場は本校で、今年度も、養賢ゼミナールの講師に国語・数学・英語の講義をしていただき、角田高校生が苦手としている分野についての学習方法や大学入学共通テストのアドバイスもいただく予定です。講習会は1日のみですが、無料で予備校の先生の講義を受講できるチャンスです。

2年生の皆さんにとって、大学受験まですでに1年を切っています。皆さんがこれまで受験してきた高校入試や学校の定期考査は、部活の大会に例えるならば、『地区大会、県大会』です。大学受験は、『全国大会』です。全国のライバルと勝負するためには、今まで以上に努力し、確実に実力をつけていかなければなりません。しかし、気持ちだけでは力はつきません。効率のよい学習方法で地道に取り組む姿勢が重要になります。さまざまな先生方のアドバイスから自分に合った学習方法を確立していくためにも、是非春期進学講習会に参加してみましょ。新しい発見があるかもしれません。

大学入学共通テストについて

1月29日に国語、数学の記述式見送りを受けた「令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト問題作成方針」が大学入試センターから発表されました。主な変更点をお知らせします。

【国語】

配点…現行センター：マーク式 200 点 ⇒ 共通テスト：マーク式 200 点 + 記述式 (段階別)
⇒ 共通テスト改訂版：マーク式 200 点

「近代以降の文章」が2問 100 点、「古文」が1問 50 点、「漢文」が1問 50 点

試験時間…現行センター：80 分 ⇒ 共通テスト：100 分 ⇒ 共通テスト改訂版：80 分

作成方針…言語を手掛かりとしながら、文章から得られた情報を多面的・多角的な視点から解釈したり、目的や場面等に応じて文章を書いたりする力などを求める。近代以降の文章(論理的な文章、文学的な文章、実用的な文章)、古典(古文、漢文)といった題材を対象とし、言語活動の過程を重視する。問題の作成に当たっては、大問ごとに一つの題材で問題を作成するだけでなく、異なる種類や分野の文章などを組み合わせた、複数の題材による問題を含めて検討する。

【数学①(数学I・IA)】

配点…現行センター：マーク式 100 点 ⇒ 共通テスト：マーク式&記述式 100 点
⇒ 共通テスト改訂版：マーク式 100 点

試験時間…現行センター：60 分 ⇒ 共通テスト：70 分 ⇒ 共通テスト改訂版：70 分

作成方針…数学的な問題解決の過程を重視する。事象の数量等に着目して数学的な問題を見いだすこと、構想・見通しを立てること、目的に応じて数・式、図、表、グラフなどを活用し、一定の手順に従って数学的に処理すること、及び解決過程を振り返り、得られた結果を意味付けたり、活用したりすることなどを求める。また、問題の作成に当たっては、日常の事象や、数学のよさを実感できる題材、教科書等では扱われていない数学の定理等を既知の知識等を活用しながら導くことのできるような題材等を含めて検討する。

☆数学①は、記述式が見送られても試験時間は70分のままで変更されなかった。

【英語】

～問題作成方針，出題方法のポイント～

- リーディングとリスニングの配点は均等である（各100点）。
- 各技能の点数の入試での比重（重み付け）は，各大学が決定する（下表参照）。
- 外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を，実際のコミュニケーションで目的や場面，状況などに応じて適切に活用できるかを「読む」「聞く」で評価する。
- 実際のコミュニケーションを想定した明確な目的や場面，状況の設定を重視する。
- 発音，アクセント，語句整序などの単独問題は出題しない。問題レベルは，CEFR A1～B1。
- リーディング・リスニングともに，概要や要点を把握する力，情報を読み取る力等を問う。
- リスニングの内容は，生徒の身近な暮らしや社会での暮らしに関わることである。
- リスニングの音声は，多様な話者による現代の標準的な英語を使用（試行調査ではアメリカ英語，イギリス英語，日本語母語話者による英語が出題）する。
- 音声読み上げは，1回読みと2回読みを出題する（全て1回読みにする可能性も今後検証）。

2021年国公立大学一般選抜 共通テスト英語 リーディング・リスニングの配点比率 (北海道・東北・関東地域)

大学名	リーディング	リスニング
小樽商科大学	1	1
帯広畜産大学	3	2
北海道大学	1	1
弘前大学	1	1
東北大学	3	1
福島大学	4	1
茨城大学	4	1
筑波大学	4	1
宇都宮大学	3	1
群馬大学	4	1
千葉大学	4	1
釧路公立大学	4	1
札幌医科大学	1	1
宮城大学	4	1
秋田県立大学	1	1
茨城県立医療大学	7	3

北海道・東北・関東において，現在公表されている主な国公立大学の配点比率です。4：1の比率は，現行のセンター試験の筆記200点，リスニング50点に相当します。比率として，現行の流れを踏襲する大学が多いようです。

【2021年度大学入学共通テスト 出題教科・科目・配点】

教科	出題科目	科目選択方法	解答時間	配点
国語	「国語」		80分	200点
地理 歴史	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」	最大2科目選択 (同一名称含む科目の組合せ不可)	1科目60分	1科目100点
公民	「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」			
数学	① 「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」	1科目選択	70分	100点
	② 「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	1科目選択	60分	100点
理科	① 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	A～Dの選択方法により科目選択 A：理科① 2科目 B：理科② 1科目 C：理科① 2科目+理科② 1科目 D：理科② 2科目	理科① 2科目60分 理科② 1科目60分	理科① 2科目100点 理科② 1科目100点
	② 「物理」「化学」 「生物」「地学」			
外国語	「英語（リーディング、リスニング）」 「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」	1科目選択	英語 リーディング80分 リスニング30分 その他80分	英語 リーディング100点 リスニング100点 その他200点

- ・国語の出題範囲：「国語総合」の内容を出題範囲とし近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題
 - ・数学①の出題範囲：
「数学Ⅰ・数学A」の「数学A」は3項目（場合の数と確率、整数の性質、図形の性質）のうち2項目以上学習者に対応した出題とし、問題を選択解答させる
 - ・数学②の出題範囲：
「数学Ⅱ・数学B」の「数学B」は3項目（数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測）のうち2項目以上学習者に対応した出題とし、問題を選択解答させる
- ※大学入試センター資料より作成

(河合塾 Ke-iNet より)

伸びる生徒と伸び悩む生徒の違い

12月に「学校法人河合塾 東北営業部 東北営業チーム」の三浦ゆき氏の講演を聴きました。三浦さんは、河合塾仙台校に通塾している浪人生の指導に当たっている方で、浪人生との関わりを通して、現在の高校生の特徴や伸びる生徒と伸び悩む生徒の特徴などを分析し、志望校合格に向けて熱心に指導をされている方です。今回の講演でそれらの特徴を紹介します。皆さんのこれからの学習へのヒントになれば幸いです。

不合格になった理由
～浪人生との面談から～

- ◇圧倒的に学習時間が少なかった
- ◇受験を意識するのが遅かった
- ◇センター試験を軽視した
(センター試験で得点できなかった)
- ◇基礎基本が身につけていなかった
(授業・復習を疎かにしていた)
- ◇苦手科目から逃げていた
- ◇焦ってあれもこれもと手を出しすぎた



成績が伸びている生徒

- ◎自ら課題を発見し、取り組んでいる
- ◎すぐに答えを求めない→自ら考える（問題に対しても、学習方法、計画に対しても）
- ◎自分の弱点を認めている
- ◎質問が具体的→添削指導を熱心に受ける

思うように成績が伸びていない生徒

- ▲アドバイスを聞かない（聞けない）
- ▲言われた事しかできない
- ▲課題の優先順位がつけられない
- ▲学習の詰めが甘い
- ▲場当たりの学習
- ▲答案の精度が低い（読解力・表現力等の欠如）

☆両者の大きな違い…

「自己分析がしっかりでき、学習のPDCAサイクルを回せている」
「かどうか（特にCHECK（評価）&ACTION（改善）」